

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

9月は世界陸上の熱戦が繰り広げられました。世界中が興奮し感動を分かち合えるのは、スポーツならではの素晴らしさと改めて感じました。今月は国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会が開催され、まさにスポーツの秋到来です。

ところで、「SPORTS」の語源は、ラテン語の「deportare」（運び去る・運搬する）で、そこから転じて「気晴らし・遊び・楽しみ・休養」を指すようになったそうです。多種多様な種目がありますが、スポーツの魅力とは、まさに人生を楽しく健康的にしてくれることなのかもしれません。

JALではそんなスポーツの魅力を多くの方と共有したいという想いから、『JALアスリートアカデミー』を開催しています。世界陸上にも出場した、やり投の北口榛花^{はるか}、110mハードルの村竹ラシッド^{うざわと}、短距離走の鶴澤飛羽^{とわ}をはじめ、現役アスリートでありJALの社員でもある「アスリート社員」11人が、子どもたちにスポーツの楽しさや技術を伝えるイベントです。今年は6月に札幌でスキー、8月に宇部でフェンシング、この10月は旭川と奄美大島で陸上競技と、競技ジャンルも豊富。11月にはバンコクでも開催します。

このアカデミー、開催地の皆さまが温かく迎えてくださるおかげで、4年目を迎えました。アス

スポーツの 恵み



リート社員の実演やアドバイスに目を輝かせ、上達のヒントを得ようと必死な子どもたち。そんな姿に、周りで見守る保護者の方々や地域の皆さまも、思わず笑顔になったり大きな声援を送ったり……。思えば私も、幼い頃に父とキャッチボールや卓球を楽しんだ中で身体を動かすことが大好きになり、遊びであつても試合となれば人一倍燃えるタイプになりました。そんなわけでこの童心に帰れる場所への参入の機会を密かに狙っています。

トップアスリートたちの高度な戦いは、私たちに国境を越えた共感や一体感を与えてくれますが、こうした身近に触れるスポーツもまた、人と人をつなぎ、社会を豊かに彩る力があると思います。

海を越え、世代や競技種目、そしてそのレベルを問わず、スポーツをする人、観る人、支える人たちをひとつにつなぎ、JALはこれからも、スポーツを通じた心のつながりを応援していきます。そして、あらためて大前提である安全への使命と責任を胸に、皆さまに安全・安心な空の旅をお届けできるように努めてまいります。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部部長、2020年に執行役員・客室本部長、2022年に常務執行役員・客室本部長、2023年に専務執行役員・カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

